

～地域に挑戦を生むあたらしい“応援”のかたち～

西条市版SIB (Social Impact Bond)

西条市市民生活部くらし支援課

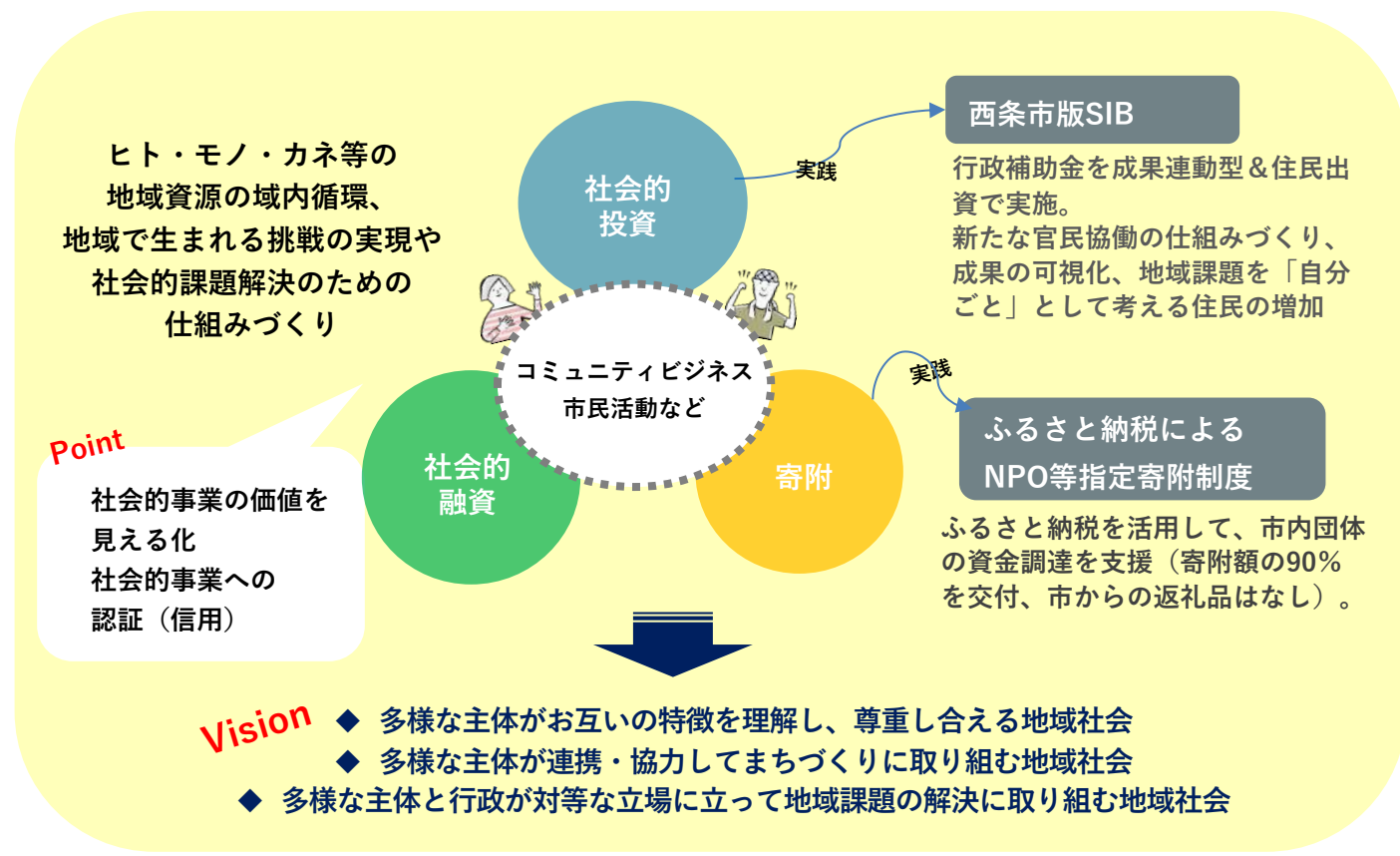
チャレンジを応援しあえる仕組み。

地域社会をささえる様々な分野のチャレンジを
資金面でも応援できるよう、人と人がつながり、
温かいお金の流れをつなぐ仕組みのことを
西条市では「ローカルファンド」と呼んでいます。



チャレンジを支える地域内循環を目指して～ローカルファンド

地域課題解決につながる事業（コミュニティビジネス）を支える、
人と人のつながりや資金の流れを生む仕組みやまちづくり＝西条市版ローカルファンド



＼ 5つのサポート団体が連携／
ソーシャルビジネス支援覚書締結

（株）日本政策金融公庫新居浜支店、サイクス、一財えひめ西条つながり基金、NPO法人西条まちづくり応援団、西条市

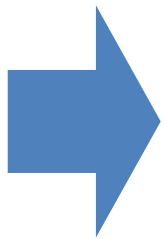
kick off

H29	H30	R1	R2	R3	R4
㈱愛媛銀行、プラスソーシャルインベストメント㈱とローカルファンド構築事業の推進に関する協定締結	・西条市版SIB（特産品開発・商業地域活性化） ・ローカルファンド研究会定期開催（講演等）	・ローカルファンドを考えるコアメンバー会議での検討・議論	・ふるさと納税によるNPO等指定寄附開始 ・西条市版SIBテーマ変更（多分野：SDGs）		

SIBとは？（Social Impact Bond）

- SIBとは、民間資金を活用して革新的な社会課題解決型の事業を実施し、その事業成果（社会的コストの効率化部分）を支払の原資とすることを旨とするもの。
- ニューヨーク市等では、民間事業者の活動の社会的インパクト（行政コスト削減等）を数値化し、自治体等がその成果報酬を支払うSIBの導入が図られ、民間資金の活用が進んでいる。（※経済産業省資料より）

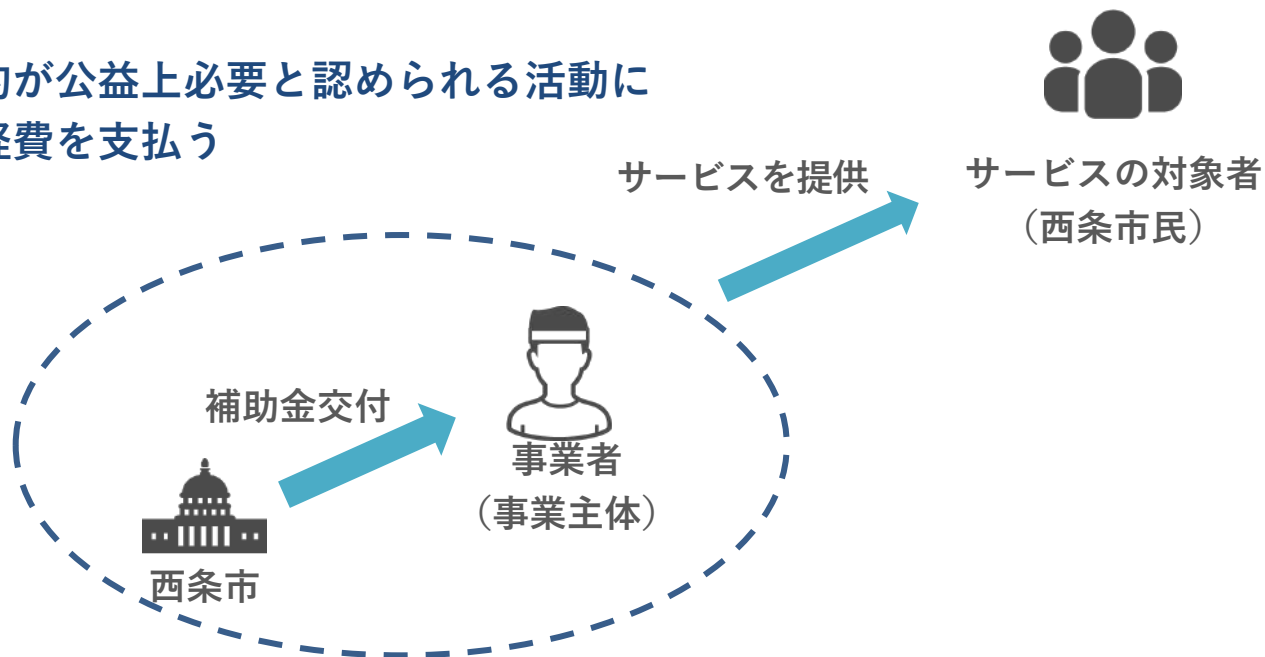
SIBの要件



- ・ 民間資金の活用
- ・ 民間事業者と行政の連携
- ・ 成果連動型支払い（行政は成果が認められた時にのみ支払いを行う）
であると考えています。

従来の一般的な補助金

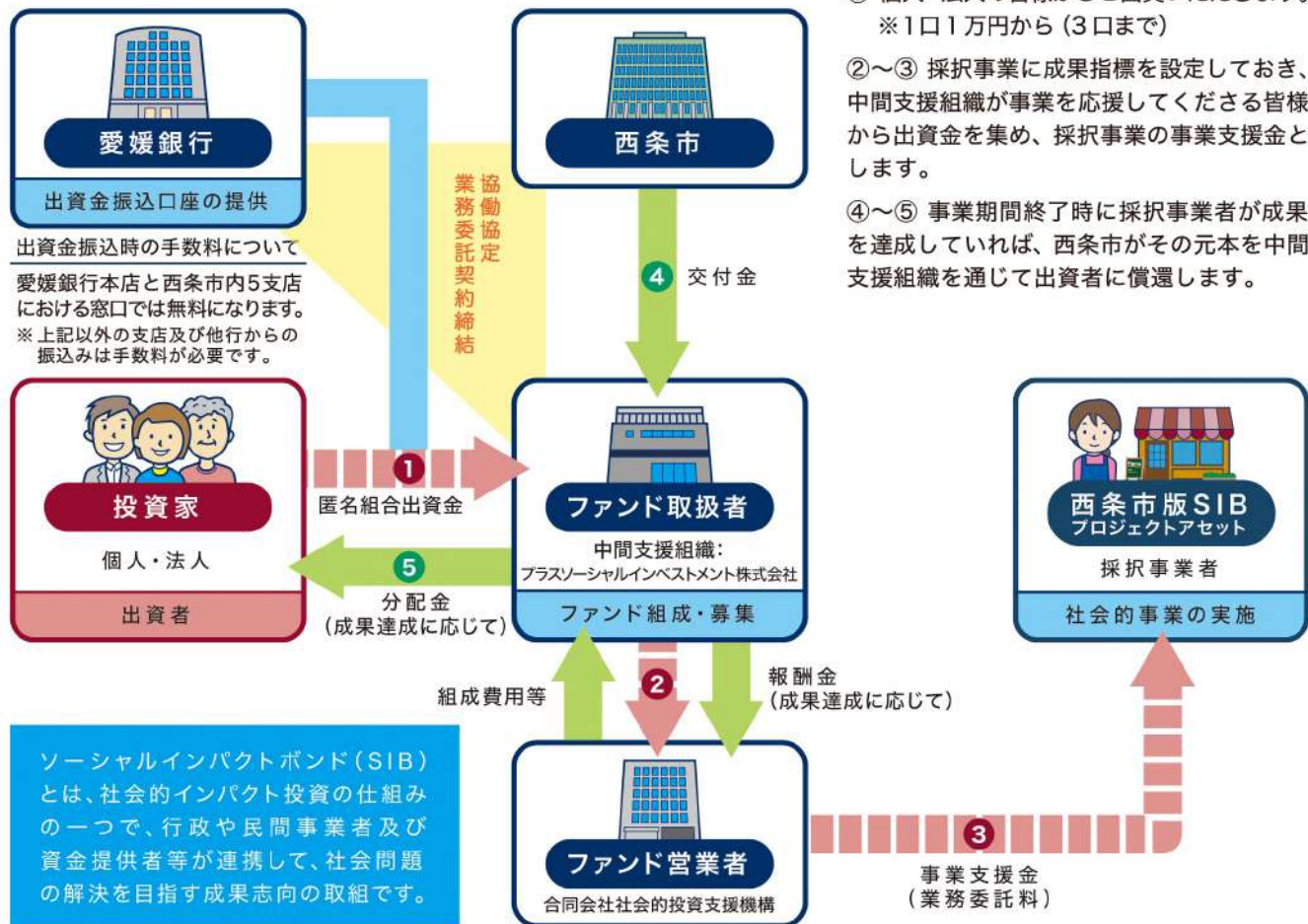
事業の目的が公益上必要と認められる活動にかかった経費を支払う



- ・「行政と事業者」という二者の関係性のもと行われる
- ・サービス対象者以外には、「成果」が分かりにくい
- ・そもそも、補助金でどのような事業が行われているかさえも知られていない

補助金事業を「西条市版SIB」へ（平成30年度～）

西条市版SIB事業の仕組み



① 個人・法人の皆様からご出資いただきます。
※1口1万円から（3口まで）

②～③ 採択事業に成果指標を設定しておき、
中間支援組織が事業を応援してくださる皆様
から出資金を集め、採択事業の事業支援金と
します。

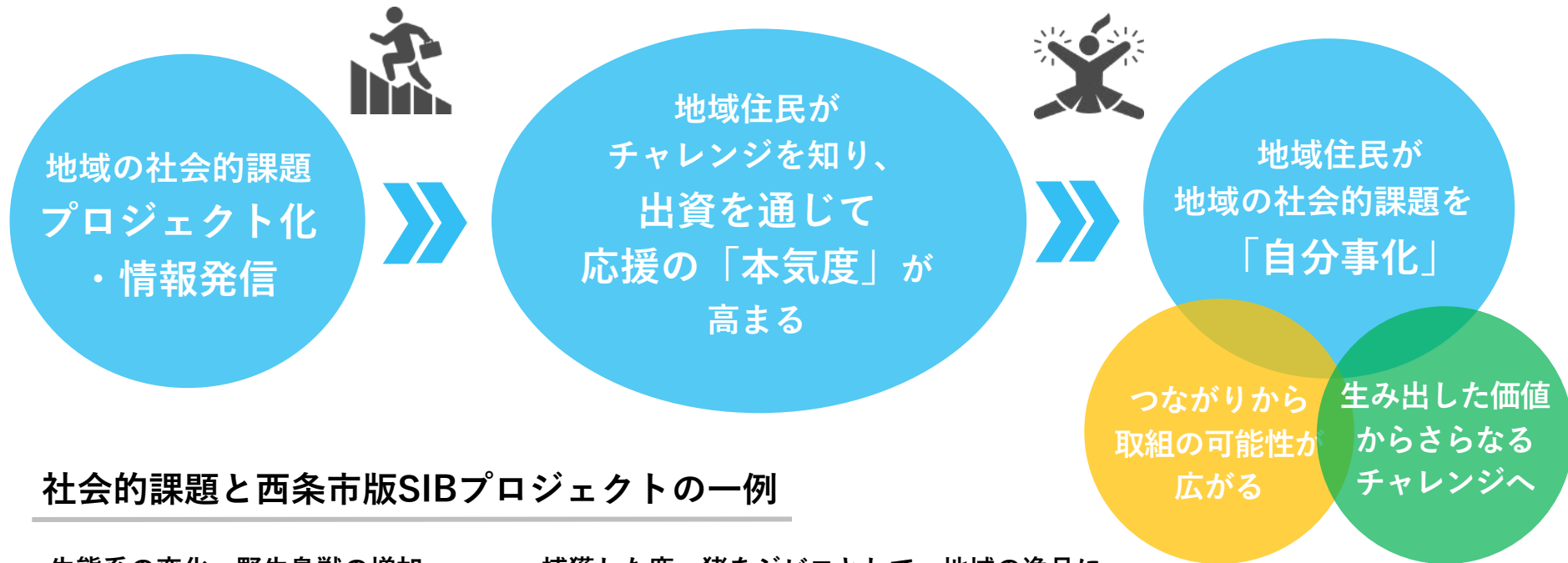
④～⑤ 事業期間終了時に採択事業者が成果
を達成していれば、西条市がその元本を中間
支援組織を通じて出資者に償還します。

Point 1
住民による応援
＝出資
で事業を実施

Point 2
成果の見える化、
成果志向へ

ソーシャルインパクトボンド（SIB）
とは、社会的インパクト投資の仕組み
の一つで、行政や民間事業者及び
資金提供者等が連携して、社会問題
の解決を目指す成果志向の取組です。

実施を通じて一行政補助金の枠を超えた展開へー



社会的課題と西条市版SIBプロジェクトの一例

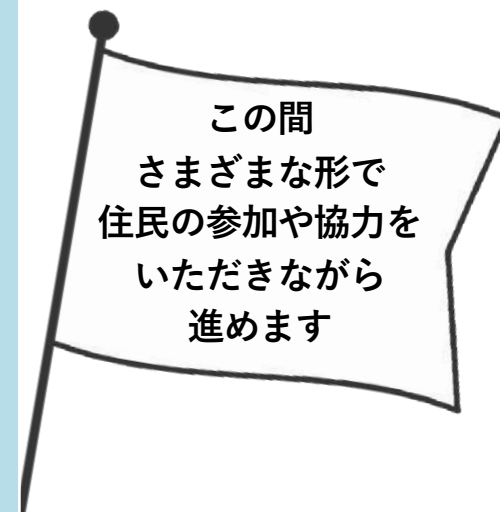
生態系の変化 野生鳥獣の増加
農林業など暮らしへの深刻な影響



捕獲した鹿・猪をジビエとして、地域の逸品に
自然と共生する持続的なビジネスへ



令和4年度 プロジェクトとスケジュール



令和4年度実施する2つのプロジェクト

まんがら自然塾体験農園スタートプロジェクト



家事育児支援を通じたメンタルヘルスケアプロジェクト



西条市版S I Bつながり広がるチャレンジ応援事業

「出資」で
想いがつながり
可能性は広がっていく

